

ルイボスサプリメントによる涙液分泌促進—ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験—

Effect of Rooibos Extract Supplementation on Tear Volume

Effect of Rooibos on Tear Film

有田玲子 (LIME 研究会、伊藤医院)、福岡詩麻 (LIME 研究会、大宮はまだ眼科西口分院)、松本玲 (LIME 研究会、レイクリニック)、新見浩司 (LIME 研究会、新見眼科)

目的：国際ドライアイ研究会のガイドラインの Step 3 の治療法のひとつとして経口涙液分泌促進剤がある。ムスカリン受容体刺激薬のプロカルピン塩酸塩が代表であるが、全身的副作用が高率にみられることに加え、日本では眼乾燥症状に対しての保険適用がない。日常的に摂取可能な食品素材による代替成分として、ルイボスエキスサプリメントに含まれるエリオジクチオール-6-C-グルコシド (以下 E6CG) はムスカリン受容体を活性化させ、涙液、唾液、角質水分量を増加させると報告されている。今回、E6CG による涙液への効果について検証したので報告する。

方法：LIME 研究会所属 4 眼科医院に勤務しており本研究に同意を得られたスタッフ 46 名 92 眼 (男性 4 名、女性 42 名、年齢  $36.7 \pm 11.6$  歳) に対し、前向きランダム化プラセボ対照二重盲検クロスオーバー比較試験を実施した。涙液に関する事前検査を行ったのち、対象をランダムに 2 群にわけ被験食品 (E6CG) もしくはプラセボを 1 回摂取後、24 時間以上あけて他方の食品を摂取させた。摂取後 2-3 時間後に自覚症状、涙液量、涙液層破壊時間 (BUT)、角結膜上皮障害、有害事象について検査した。

結果：E6CG 摂取後のほうがプラセボ摂取後に比べて、眼乾燥感 ( $p=0.011$ )、涙液量 ( $p=0.001$ )、BUT ( $p<0.001$ ) が有意に改善した。有害事象は認めなかった。

結論：ルイボスサプリメントは涙液量を増加させ、眼乾燥感を改善させた。今後、ルイボスサプリメントは、ドライアイ治療のオプションのひとつになる可能性が示唆された。